資材を運搬中、台車の前輪が破損し荷が激突

激突されー２

災害発生時記録							
発生月日　時	10月　4日（木）　18時　15分			工事内容	分譲マンション新築工事ー地上11・13・14階の3棟　延床17500m2　共同住宅186戸　最高高H42．5m		
被災者	職種	弱電工（職長）	経験年	6	所属	元請　直営　〇2次会社　1人親方　請負外契約	
被災程度	右手首裂傷						

災害発生状況（写真）

エレベーター業者が台車を用いてエレベーターの荷重試験用の金属板ウエイトを運搬しようとしていたところ
台車の前輪が正常に作動せず難儀していた。　たまたま近くでそれを見ていた被災者（別会社）が手伝おうと
台車の前輪側を持ち上げた時、突然左前輪が破損し傾いたことで荷（金属板）が崩れて被災者の右手首に
激突した。

初期の対策状況含む事項(写真含)

被災状況、休業2日

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	積荷重量が積載重量を超えていた。	〇	◎		台車の見やすい箇所に最大積載荷重を明示し、これを超えない	台車は誰にでも気軽に使用（運搬作業）できる ものですが、適切に使用しなかった結果、本事例 のような災害に繋がるケースもある。 更には関係ない別の業者が好意で手伝うケース もよく見かけるが、これも思わぬ災害に繋がる 場合があるので注意が必要です。
2	台車の積載荷重標示が小さく、見づらかったこと。			〇		

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に〇マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に〇ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）